

ダイワ米国厳選 バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)

運用報告書(全体版) 第9期

(決算日 2023年11月28日)

(作成対象期間 2022年11月29日～2023年11月28日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2015年3月6日～2025年11月28日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要 投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株組比	式入率	株先比	式物率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率					
	円	円	%		%	%	%	%		百万円
5期末 (2019年11月28日)	12,367	0	12.6	14,639	14.7	94.7	—	—		2,036
6期末 (2020年11月30日)	13,824	0	11.8	16,249	11.0	95.5	—	—		406
7期末 (2021年11月29日)	18,267	0	32.1	22,697	39.7	90.7	—	—		783
8期末 (2022年11月28日)	19,385	0	6.1	24,590	8.3	94.4	—	—		373
9期末 (2023年11月28日)	23,601	0	21.7	29,946	21.8	96.1	—	—		932

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

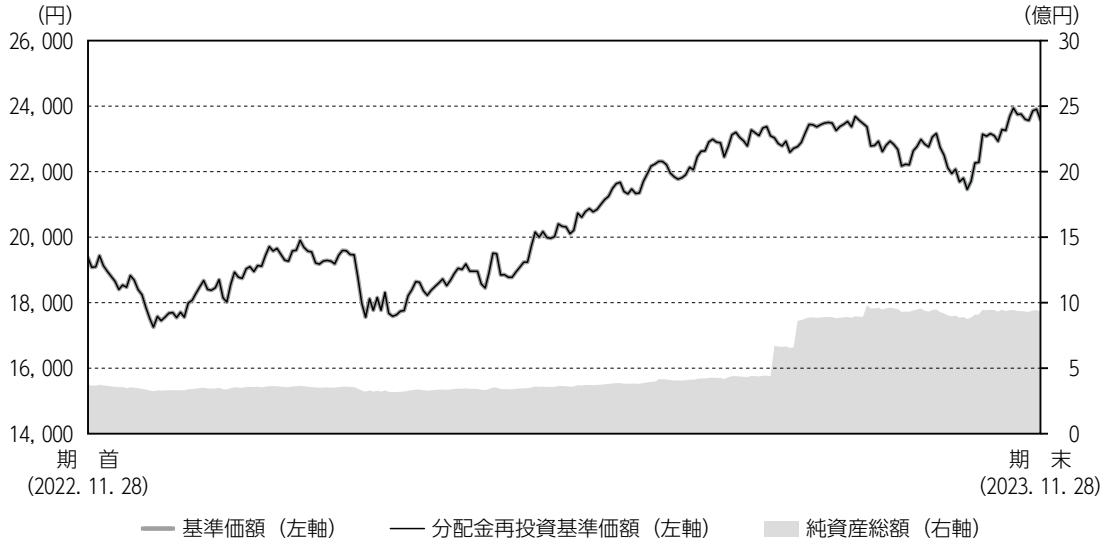
※参考指数を「S & P 500指数 (円換算)」から「S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

S & P 500指数はS & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「S P D J I」) の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] およびCDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J Iに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しては一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：19,385円

期末：23,601円 (分配金0円)

騰落率：21.7% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことに加え、為替相場で米ドルが対円で上昇 (円安) したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2022年11月28日	19,385	—	24,590	—	94.4	—
11月末	19,108	△ 1.4	24,133	△ 1.9	94.3	—
12月末	17,717	△ 8.6	22,456	△ 8.7	93.5	—
2023年1月末	18,964	△ 2.2	23,062	△ 6.2	93.9	—
2月末	19,304	△ 0.4	23,913	△ 2.8	94.8	—
3月末	18,403	△ 5.1	23,853	△ 3.0	96.5	—
4月末	18,922	△ 2.4	24,475	△ 0.5	96.2	—
5月末	20,329	4.9	25,969	5.6	96.2	—
6月末	22,188	14.5	28,190	14.6	95.5	—
7月末	22,778	17.5	28,586	16.2	95.4	—
8月末	23,451	21.0	29,244	18.9	96.1	—
9月末	22,951	18.4	28,520	16.0	94.9	—
10月末	21,727	12.1	27,643	12.4	94.5	—
(期末) 2023年11月28日	23,601	21.7	29,946	21.8	96.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 11. 29 ~ 2023. 11. 28）

米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから、2022年末にかけて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬からは、A I（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やF R Bの政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月には、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感されて大幅に上昇し、当作成期末を迎えました。

為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、米ドルは対円で下落（円高）して始まりしました。2023年2月に入ると、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、米ドルは対円で上昇に転じました。3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、米ドルは対円で下落しました。5月から6月にかけては、米国の経済指標が上振れたほか、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。11月に入ると、米国金利の低下や日銀の政策修正期待の後退から、米ドルは対円で下落して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2022. 11. 29 ~ 2023. 11. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

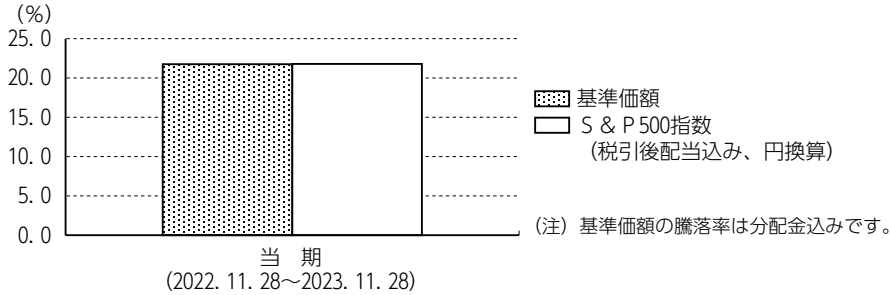
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、CHARTER COMMUNICATIONS (コミュニケーション・サービス)、INTERCONTINENTAL EXCHANGE (金融)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2022年11月29日 ～2023年11月28日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		13,601

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 11. 29～2023. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	303円	1.463%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は20,689円です。
（投 信 会 社）	(223)	(1.078)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(68)	(0.330)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(11)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	8	0.041	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(8)	(0.041)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	9	0.041	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(7)	(0.036)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	320	1.546	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

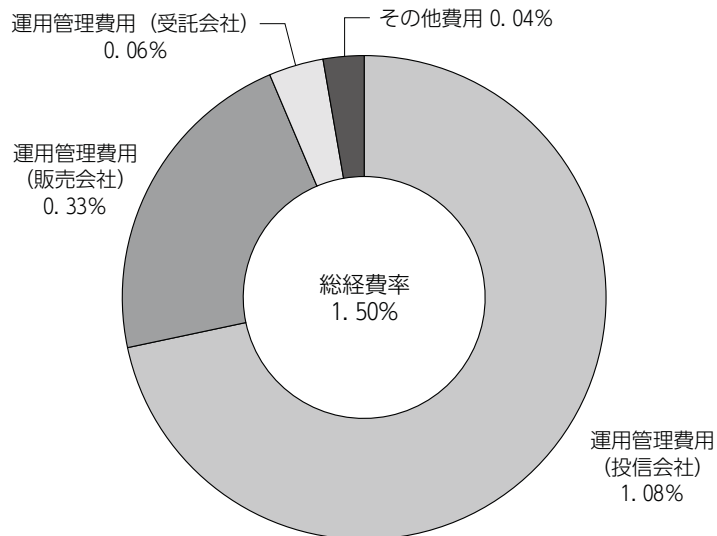
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年11月29日から2023年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	78,862	563,000	14,679	98,730

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年11月29日から2023年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	6,546,399千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,318,349千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.51

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	62,357	126,541	931,305	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	931,305	99.4
コール・ローン等、その他	5,978	0.6
投資信託財産総額	937,283	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.15円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,028,979千円)の投資信託財産総額(5,102,686千円)に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	937,283,492円
コール・ローン等	5,978,282
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	931,305,210
(B) 負債	5,035,600
未払信託報酬	5,016,773
その他未払費用	18,827
(C) 純資産総額 (A - B)	932,247,892
元本	395,001,125
次期繰越損益金	537,246,767
(D) 受益権総口数	395,001,125口
1万口当り基準価額 (C / D)	23,601円

* 期首における元本額は192,626,984円、当作成期間中における追加設定元本額は248,335,411円、同解約元本額は45,961,270円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は23,601円です。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）

■損益の状況

当期 自2022年11月29日 至2023年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 658円
受取利息	54
支払利息	△ 712
(B) 有価証券売買損益	90,223,388
売買益	96,948,984
売買損	△ 6,725,596
(C) 信託報酬等	△ 7,569,892
(D) 当期損益金 (A + B + C)	82,652,838
(E) 前期繰越損益金	53,742,116
(F) 追加信託差損益金	400,851,813
(配当等相当額)	(195,720,129)
(売買損益相当額)	(205,131,684)
(G) 合計 (D + E + F)	537,246,767
次期繰越損益金 (G)	537,246,767
追加信託差損益金	400,851,813
(配当等相当額)	(195,720,129)
(売買損益相当額)	(205,131,684)
分配準備積立金	136,395,612
繰越損益金	△ 658

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：2,994,723円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	82,652,691
(c) 収益調整金	400,851,813
(d) 分配準備積立金	53,742,921
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	537,247,425
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	537,247,425
(h) 受益権総口数	395,001,125口

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第23期 (決算日 2023年11月28日)

(作成対象期間 2023年5月30日～2023年11月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

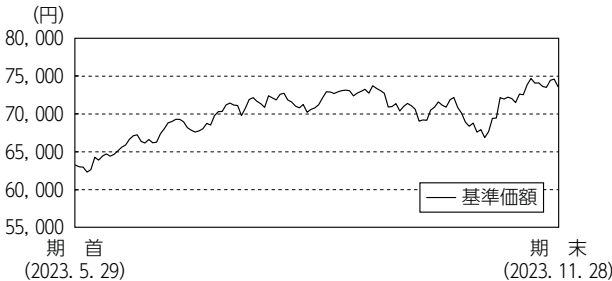
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首) 2023年5月29日	63,224	—	64,903	—	96.6	—
5月末	62,956	△ 0.4	64,446	△ 0.7	96.6	—
6月末	68,819	8.8	69,958	7.8	95.8	—
7月末	70,770	11.9	70,941	9.3	95.7	—
8月末	72,907	15.3	72,574	11.8	96.2	—
9月末	71,398	12.9	70,777	9.0	95.0	—
10月末	67,662	7.0	68,602	5.7	94.8	—
(期末) 2023年11月28日	73,597	16.4	74,318	14.5	96.2	—

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
 ※参考指数を「S & P 500指数 (配当込み、円換算)」から「S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：63,224円 期末：73,597円 騰落率：16.4%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が上昇したことに加え、為替相場で米ドルが対円で上昇 (円安) したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、AI (人工知能) 関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。2023年8月以降は、米国国債の増発やFRB (米国連邦準備制度理事会) の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したこと

を受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月には、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感されて大幅に上昇し、当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、FRB (米国連邦準備制度理事会) が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、上昇して始めました。2023年7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落 (円高) しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。11月に入ると、米国金利の低下や日銀の政策修正期待の後退から、米ドルは対円で下落して当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、CHARTER COMMUNICATIONS (コミュニケーション・サービス)、INTERCONTINENTAL EXCHANGE (金融)などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	15円 (15)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	10 (10) (0)
合 計	25

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

(2023年 5月30日から2023年11月28日まで)

外国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	株 数	金 額	株 数
アメリカ	百株 2,055.49 ()	千アメリカ・ドル 15,128 ()	百株 1,565.77	千アメリカ・ドル 14,768	

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2023年 5月30日から2023年11月28日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	千株 13.53	千円 422,559	円 31,231	AMAZON.COM INC (アメリカ)	千株 18.937	千円 353,588	円 18,671
LITHIA MOTORS INC (アメリカ)	4.065	165,223	40,645	ORACLE CORP (アメリカ)	18.795	322,237	17,144
WARNER BROS. DISCOVERY INC SERIES (アメリカ)	84.885	161,134	1,898	HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	3.367	136,473	40,532
BRUNSWICK CORP (アメリカ)	13.51	158,190	11,709	CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	2.143	136,044	63,483
SCHWAB (CHARLES) CORP (アメリカ)	19.545	155,540	7,958	KKR & CO INC (アメリカ)	15.2	135,993	8,946
AMERICAN EXPRESS CO (アメリカ)	6.385	151,806	23,775	LEAR CORP (アメリカ)	6.137	129,841	21,157
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	7.485	136,748	18,269	NETFLIX INC (アメリカ)	2.131	123,529	57,967
PHILLIPS 66 (アメリカ)	7.316	124,119	16,965	WENDY'S CO/THE (アメリカ)	40.05	115,780	2,890
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	2.165	116,407	53,767	MANPOWERGROUP INC (アメリカ)	8.72	98,690	11,317
EOG RESOURCES INC (アメリカ)	6.64	108,063	16,274	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	4.008	81,434	20,317

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■組入資産明細表 外国株式

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円		
(アメリカ)	百株	百株				
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	155.25	200.4	2,267	335,904	金融	
BRUNSWICK CORP	—	124.6	972	144,113	一般職・サービス	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS INC	40.79	41.29	696	103,238	一般職・サービス	
WENDY'S CO/THE	368.2	—	—	—	一般職・サービス	
HCA HEALTHCARE INC	33.67	—	—	—	ヘルスケア	
LITHIA MOTORS INC	—	37.8	1,003	148,653	一般職・サービス	
AMAZON.COM INC	182.57	—	—	—	一般職・サービス	
EOG RESOURCES INC	54	80.55	990	146,781	エネルギー	
FISERV INC	117.44	98.89	1,251	185,373	金融	
ALPHABET INC-CL A	166.74	201.51	2,748	407,234	コミュニケーション・サービス	
MANPOWERGROUP INC	87.2	—	—	—	資本財・サービス	
PHILLIPS 66	—	73.16	865	128,253	エネルギー	
KKR & CO INC	331	201.55	1,391	206,210	金融	
CONOCOPHILLIPS	149.24	125.15	1,436	212,850	エネルギー	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	55.58	55.8	2,214	328,058	コミュニケーション・サービス	
CBRE GROUP INC - A	239.59	284.09	2,244	332,494	不動産	
SALESFORCE.COM INC	79.17	78.47	1,763	261,325	情報技術	
IQVIA HOLDINGS INC	—	124.95	2,633	390,089	ヘルスケア	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	60.57	62.57	1,533	227,145	金融	
WARNER BROS. DISCOVERY INC SERIES	—	790.3	851	126,215	コミュニケーション・サービス	
NETFLIX INC	21.31	—	—	—	コミュニケーション・サービス	
ORACLE CORP	179.9	—	—	—	情報技術	
BANK OF AMERICA CORP	529.64	563.72	1,666	246,870	金融	
AMERICAN EXPRESS CO	—	63.85	1,047	155,171	金融	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	144.03	145.93	952	141,067	金融	
SCHWAB (CHARLES) CORP	168.87	339.32	1,900	281,513	金融	
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	159.47	179.37	1,904	282,159	金融	
BLACKROCK INC	7.62	7.72	564	83,569	金融	
LEAR CORP	59.42	—	—	—	一般職・サービス	
ファンド	株数、金額	3,391.27	3,880.99	32,901	4,874,295	
合計	銘柄数<比率>	23銘柄	22銘柄		<96.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年11月28日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	4,874,295	95.5%
コール・ローン等、その他	228,390	4.5%
投資信託財産総額	5,102,686	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.15円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,028,979千円)の投資信託財産総額(5,102,686千円)に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年11月28日現在

項目	当期末
(A) 資産	5,102,686,100円
コール・ローン等	225,853,376
株式(評価額)	4,874,295,704
未収配当金	2,537,020
(B) 負債	33,403,805
未払金	25,513,805
未払解約金	7,890,000
(C) 純資産総額(A-B)	5,069,282,295
元本	688,793,249
次期繰越損益金	4,380,489,046
(D) 受益権総口数	688,793,249口
1万口当り基準価額(C/D)	73,597円

* 期首における元本額は678,278,520円、当作成期間中における追加設定元本額は120,211,879円、同解約元本額は109,697,150円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ A コース (為替ヘッジあり)

91,847,644円

ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ B コース (為替ヘッジなし)

470,404,413円

ダイワ米国厳選株バリューストック株ファンド (ダイワSMA専用)

126,541,192円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は73,597円です。

■損益の状況

当期 自2023年5月30日 至2023年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	34,020,158円
受取配当金	30,734,253
受取利息	3,302,671
支払利息	△ 16,766
(B) 有価証券売買損益	690,031,381
売買益	748,521,815
売買損	△ 58,490,434
(C) その他費用	△ 743,387
(D) 当期損益金 (A + B + C)	723,308,152
(E) 前期繰越損益金	3,610,045,623
(F) 解約差損益金	△ 681,752,850
(G) 追加信託差損益金	728,888,121
(H) 合計 (D + E + F + G)	4,380,489,046
次期繰越損益金 (H)	4,380,489,046

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。